

中

文化祭

10月10日（金）、中学校文化祭が開催されました。「東一（とういつ）」のテーマのもと、学年・クラス・部活動単位でステージパフォーマンス・映像作品や展示の発表を行いました。今年度は劇の発表が7団体あり、各団体が工夫して唯一無二の舞台を作りあげました。また、展示部門や映像作品も見ごたえのあるものが多く、文化部においても日ごろの活動の成果を披露する場となりました。平日開催にもかかわらず、多くの保護者の皆様や地域の方々に来ていただき、ありがとうございました。



中

市中体駅伝

10月2日（木）、長崎市中総体駅伝競走大会が長崎市総合運動公園で開催されました。今年度は約35名の生徒が練習に参加し、猛暑の中、厳しい練習に耐え抜きました。本番当日は代表として選ばれた21名の選手が、一緒に練習した仲間の想いも襷に掛けて、最後まで素晴らしい走りを魅せてくれました。結果は、女子が14位、男子が10位と健闘しました。多くの方から応援をいただき、ありがとうございました。



芸術鑑賞会

今年の芸術鑑賞会は「学校寄席」。第一体育館で落語を鑑賞しました。寄席入門から上方落語と江戸落語、さらには英語落語に曲芸と多彩なプログラムでしたが、それぞれに大変魅力的で、生徒たちはとても良く集中して鑑賞していました。また公演後、出演してくださった方々も、生徒たちの反応が良くとてもやりやすかった、とおっしゃっていました。日本の古典芸能を堪能できた素敵な2時間でした。

高2 探究活動

本校では、魅力的な探究スタディツアーを実施しています。ツアーは高校2年生より選抜された生徒を対象にして、探究的な学びを深めることを目的に実施しています。

10/9（木）～10（金）には、東京大学大学院情報学環・学際情報学府の渡邊英徳先生の研究室を訪問し、最新のAIやデジタル技術を活用した探究学習の研修を行いました。広島舟入高校と合同で実施し、学びの輪を広げました。



また、10/17（金）～19（日）には、沖縄で探究スタディツアーを実施しました。対馬丸記念館での遭難体験者講話、ガンマ体験、学徒隊研修を行うとともに、沖縄尚学高校、那覇国際高校の生徒とディスカッションを行い、多くの学びと成長を得ることができました。

バスハイク

10月8日（水）に山茶花高原へバスハイクに行ってきました。生徒も教員も思い思いの楽しみ方で、その日1日を満喫していました。体育祭が4月開催になり、高校3年生の受験に向けたモチベーションを保つ新しい形～そして伝説へ～はここに完結したことを報告いたします。保護者の皆様をはじめ多くの方々のご協力に感謝するとともに、78回生が受験に向けて、もう一つギアを上げて顔晴ってくれることを期待します。



大会等の結果

〈中学〉

- ◆長崎市中学校柔道競技新人大会
男子60kg級 優勝 2年1組 和田 蒼汰
男子55kg級 第2位 1年2組 倉橋 六也
- ◆第6回長崎市中学校秋季卓球選手権大会
女子の部 第3位 長崎東Aチーム

- ◆第31回日本管楽合奏コンテスト予選審査会
中学生A部門 優秀賞
- ◆第72回長崎市小中学校科学教育展
優秀賞 2年3組 道向 海美
- ◆第18回創造アイデアロボットコンテスト長崎市中生大会
計測制御部門 優勝 HYN登龍チーム

〈高校〉

◆第37回長崎県高等学校テニス選手権シングルス大会

男子シングルス 準優勝 2年6組 森 颯也
女子シングルス 優勝 2年1組 江口 星花

◆令和7年度長崎県高等学校新人体育大会（テニス競技）

男子団体 準優勝
女子団体 準優勝
男子個人ダブルス 第3位 2年6組 森 颯也
1年4組 元山 聡介
女子個人シングルス 準優勝 2年7組 竹内 碧彩
第3位 2年1組 江口 星花
女子個人ダブルス 優勝 2年1組 江口 星花
2年7組 竹内 碧彩
第3位 2年5組 牧山 直生
1年6組 児島 加純

◆令和7年度長崎県高等学校新人体育大会（ソフトテニス競技）

女子団体 第3位
女子個人 第3位 2年3組 吉田 稟珂
1年6組 池田 朱里
第5位 2年1組 鶴田 鈴呼
2年2組 末永 七咲

◆令和7年度長崎県高等学校新人体育大会（空手競技）

男子個人形 第2位 2年2組 尾上 獅門

◆令和7年度長崎県卓球選手権大会

ジュニアダブルスの部 第3位 2年2組 新宮 藍
2年7組 坂本 莉菜

◆令和7年度長崎県高等学校新人体育大会 卓球競技

長崎地区予選会

女子学校対抗戦 優勝
女子ダブルス 第2位 2年2組 新宮 藍
2年7組 坂本 莉菜
女子シングルス 第3位 2年2組 新宮 藍
2年7組 坂本 莉菜

◆令和7年度長崎地区高等学校新人柔道大会

男子73kg級 第3位 2年5組 村中 旺介

◆令和7年度長崎地区高等学校新人体育大会剣道競技

女子団体 優勝
男子団体 3位
女子個人 優勝 2年2組 久保 凜々果
準優勝 2年1組 宮崎 結
第3位 1年7組 勝矢 紗代
男子個人 準優勝 2年1組 小池 雄士郎

◆第47回九州高校放送コンテスト長崎県南地区大会

アナウンス部門 優秀賞 1年2組 泉 沙良
朗読部門 優秀賞 1年3組 長屋 優真
優良賞 2年2組 谷口 寧々

◆第27回市民体育・レクリエーション祭（弓道競技）

高校女子の部 団体 優勝 長崎東Aチーム
個人 優勝 2年7組 江川 こな
第2位 2年7組 三浦 心和
第7位 1年6組 荒木 祝子
高校男子の部 個人 第4位 1年3組 尾上 蒼真
第8位 1年4組 白石 蒼太

◆第79回国民スポーツ大会（ライフル射撃競技）

BR少年ミックス競技 第8位 2年5組 開 雄一

◆第27回市民体育・レクリエーション祭（ライフル射撃競技）

BR男子高校生の部 第1位 2年5組 開 雄一
第5位 2年7組 雨森 惇之介
第6位 2年2組 金子 晴汰
BR女子高校生の部 第3位 2年5組 中山 桜花
第5位 2年4組 一ノ瀬 愛理
第6位 1年3組 橋田 小陽
AR女子高校生の部 第2位 2年2組 阪辻 優希
BP男子高校生の部 第4位 2年7組 小川 隼佑
第5位 2年7組 谷口 生将
第6位 2年1組 福田 隼大

BP女子高校生の部 第2位 2年5組 横尾 ひなた

◆令和7年度長崎県秋季ライフル射撃選手権大会 高校生の部

BR少年男子団体 第1位
BR少年女子団体 第1位
BP少年男子団体 第2位
BP少年女子団体 第1位
BR少年男子 第1位 2年5組 開 雄一
第7位 2年1組 熊本 優生
第8位 2年2組 金子 晴汰
BR少年女子 第1位 2年5組 中山 桜花
第2位 2年3組 川口 瑠心
第6位 1年3組 橋田 小陽
第7位 2年4組 一ノ瀬 愛理
AR少年男子 第1位 2年5組 中村 征士郎
BP少年男子 第5位 2年1組 福田 隼大
第6位 2年7組 小川 隼佑
第7位 1年4組 弥永 遼
第8位 2年4組 山新田 朔
BP少年女子 第2位 2年5組 横尾 ひなた
第3位 2年2組 高濱 彩音
第5位 2年5組 川良 南夏
第6位 1年5組 三浦 詩乃
第8位 1年7組 山下 小春

◆第54回長崎市陸上競技選手権大会

女子一般高校3000m 第2位 2年1組 森田 紗奈

11月
目標

読書に勤しみ、「考える力」を高めよう

主な行事 11月

日 曜	主な行事
1 土	開校記念日 ベネッセ・駿台マーク模試(高3、～2日) 進研実力(高1、2) FW月間(～14日)、広島模擬国連(高2代表～2日)
4 火	花プランター作り② 高校生さわやか運動(～28日) ベトナム探究ST(高2代表、～8日) 進研実力(高2・放課後)
5 水	キャリアセミナー(中学、高1、2)
6 木	FW規定日(高1、2) 三菱重工探究ST(高2該当者) 離島FW(高1、2対象者、～7日)
7 金	長崎県高等学校総合文化祭(県北) 県総文(文芸) 中山芳一先生講演会(中3、高1、2)
8 土	県総文(郷土芸能、将棋)
9 日	県総文(放送)
10 月	生徒会役員選挙(中)
11 火	学校生活に関する調査 県総文(写真)
12 水	合唱コンクール(中) 7校時月④の授業(高1)
13 木	ひがしチャレンジデー
15 土	県新人大会(卓球、剣道、射撃、バド、～16日) 長崎県高校野球1年生大会 大学別模試③(高3、～16日)、全統記述(高3)
18 火	修学旅行結団式(高2) 海外語学研修参加者説明会(中2、高1)
19 水	三者面談(中3、～26日) 高2国際科振替休日(22日分)
20 木	考查時間割発表(中) 修学旅行(高2国際科、～24日)
21 金	長崎東安全の日
22 土	全統共通テストプレ(高3、～23日)
25 火	修学旅行(高2普通科A、～29日) 高2国際科・普通科B振替休日(23、29日分)
26 水	修学旅行(高2普通科B、～30日) 高2国際科振替休日(24日分)
27 木	第3回考查(中、～28日) 考查時間割発表(高1、2)
29 土	GTECアセスメント(高1)

校長より

校内に響く音色、そして日本中に響いた挑戦

校長 田川 耕太郎

朝は東中生の合唱コンクールに向けた歌声、昼は小鳥のさえずり、そして夕方は吹奏楽部の音色が響き渡ります。最近の「ひがし」は、一日を通してさまざまな音に包まれ、朝夕の冷え込みとともに、校内にも秋の深まりが感じられるようになりました。

さて今回は、先月東京で開催された世界陸上でフルマラソンを走り抜いた近藤亮太選手を紹介したいと思います。実は近藤選手のお父さんとは、昨年まで同じ職場で働いていたご縁もあり、私自身、特別な思いで応援しました。

近藤選手は島原高校の出身。世界陸上では42.195kmを日本人トップで走り抜き、世界11位という快挙を成し遂げました。中学・高校時代は無名のランナーだったそうですが、「走ることを諦めず、順天堂大学へ進学。4年生で念願の箱根駅伝に出場するも、結果は区間14位。それでも彼は走ることに挑戦を止めず、なんと三菱重工の合宿に“アポなし”で飛び込み参加。努力と実績が認められて、正式に入社し、今回の世界陸上へとつながったのです。

人はつい、自分の限界を「このくらいだろう」と低く見積もってしまいがちです。しかし近藤選手の素晴らしさは、自分の可能性を信じ続けたところにあります。その姿勢こそが、私たちにとって何よりの学びです。自分の敵は意外と自分自身だったりします。彼の好きな言葉は「常にもっと高く」。自分の可能性を信じ、高みを目指す近藤選手のすっかりファンになってしまいました。ちなみに趣味は部屋の片づけだそうで、日々の小さな積み重ねを大切にしている姿勢が垣間見えます。

秋は「実りの季節」とも言われます。近藤選手のように、日々の努力を重ねてきた人にこそ、大きな実りが訪れるのかもしれませんが。自分の可能性を信じて、今できることに一歩ずつ取り組んでいきたいものです。この秋、自分を奮い立たせるような挑戦を、ぜひ！